

FDG-PET/CT検査注意事項

* 検査を受けるにあたり、次の点をご確認ください。

- ① FDG(フルオロデオキシグルコース)というブドウ糖に非常に良く似た薬剤を使用します。
この薬剤による重篤な副作用の報告はありません。
- ② 血糖値200mg/dl以上では、薬剤が患部へ集まりにくくなり、検査精度が低下して病変を見逃す恐れがあります。従って本検査をお勧めできません。あらかじめご了承ください。
糖尿病またはその疑いがある方は担当医に御相談ください。
- ③ 妊娠中、またはその疑いのある方は検査できません。
- ④ 悪性度の低いがん(甲状腺がんの一部や肺がんの一部など)、がん細胞の占める割合の少ない腫瘍(胃がんの一部など)は検出されない可能性があります。その他に尿管がん、膀胱がん、肝細胞がん、胆道がん、白血病なども検出されない可能性があります。
- ⑤ FDGはブドウ糖代謝の盛んな脳や心臓に強く集積します。また腎臓から尿管、膀胱へと排泄されます。そのためこれらの臓器における腫瘍の診断の正確性を上げるためには他の検査を併用して補う必要性があります。
- ⑥ 肺結核、サルコイドーシスや胃炎、喉頭炎などの炎症性疾患、甲状腺腫や大腸腺腫などの良性疾患でも本検査で陽性になることがあります。また、消化管の蠕動運動など臓器の生理的な機能によって正常でも陽性になることがあります。
このような場合には、別途検査をお勧めすることがあります。
- ⑦ 検査精度を高くするために、追加撮影(FDG注射後、通常の1時間後の検査に加え、約2時間後に検査をするものです)を撮らせていただく場合があります。
- ⑧ 月経がある女性の方は、卵巣および子宮が偽陽性になることを避けるために、生理後1週目あたりの検査をお勧めします。
- ⑨ PETによる画像診断は優れた診断能を有していますが、さまざまな限界があり、がんを100%診断し得るものではないことをご理解ください。

お問い合わせ先 : 刈谷豊田総合病院 地域連携室

〒448-8505 刈谷市住吉町5丁目15番地

TEL 0566-25-8304

FAX 0566-27-6956

医療法人豊田会

刈谷豊田総合病院